

① 実態把握シート

Q 班

学校の課題

① 主体的な学び

- 自分の考えをまとめる
- 自ら進んで発言しない
- 自分の考え → 発信
- 主体的な学び × 受け身
- 自分の考え、自分で
- 課題 → 自分の考えを活動に関心、参加

② 話し合い活動のルール

- 話し合い活動のルール
- 話し合いの方向を捉えたい
- 司会の役割 理解していない
- 自分の考えを表現したい
- 話し合いの目的が不明
- 全体に広め、高め合いたい
- 話し合いの工夫
- 発問 問い返し

③ 話し合い活動のルール

④ 学びの自覚化

- 学びの自覚化
- 自己肯定感
- 学びの自覚化

⑤ 根拠の明確化

- 根拠や筋道 (学1条)
- 言記述力
- 根拠も明確にして書くことできる
- 文章力、記述力
- 証明 (線分中点)
- 理由、根拠を明確に説明

⑥ 課題解決力

- 多面的、多角的 (学2条)
- 図形 × 多面的な考え方
- 数式的思考、考え方
- 資料の活用

⑦ 表現力の工夫

- 伝わるように書かない
- ノート書いてから発表
- ノート a と y / x
- 解き方 考え方が、ノートのとり方?

多角的思考

課題をまとめると...

研究主題 自ら学び、考え、表現できる生徒の育成	
研究教科 小学校:国語・算数	中学校:全教科
目指す子供の姿 ○自分の考えを持ち、根拠を示して表現できる生徒 ○他者の考えを認め、自分の学びを深める生徒 ○「できた」と実感し、自ら自信できる生徒	目指す授業像 自分の考えを持ち、他者の考えを活かして学び合い、「できた」と実感できる授業。
研究の重点(柱) 2つ~3つ	
A 授業改善	
B 人間関係づくり。(学級づくり・集団づくり)	
C 環境整備等(学びの可視化など)。	
A: 授業改善の視点(3つ程度)	
① 学び合いの充実。	
②	
③ 学びの自覚化。	

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て	
①番	・考えにつながる課題の設定 ・話し合い活動のルールづくり ・役割や話し方の視覚化 ・生徒の意見を引き出す問い返し、切り返し ・既習事項をもとにして考えさせる。
A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て	
②番	・ふり返りの場の設定 ・自分の言葉で根拠を明確にしてまとめる(書く) ・他者の学びを聞き、再認識する。 ・「できた」との実感。

③ 計画シート

Q 班

環境整備
(年間)
校内研修会
(毎月)

研究推進委員
会(毎月)

		内 容			
		学力調査の 自校採点	研究方針の 提案	目指す授業像の 共通理解	提案授業
5月		学力調査の 結果分析	学力調査問題の 出題傾向の把握	学力向上プラン の策定	模擬授業 授業交流 ①
6月		計画訪問	研究授業		
7月					
8月		小中連携	講師招聘 (生徒理解)	学力向上プラン の見直し①	検証①
9月					授業交流 ②
10月		模擬授業			
11月		要請訪問			
12月				学力向上プラン の見直し②	検証②
1月		研究紀要の 作成			授業交流 ③
2月		次年度の 計画			
3月					